

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南俣間伐材の搬出と再生可能エネルギーの供給事業
事業主体 (連絡先)	北真志野里山整備利用推進協議会 会長 小笠原 孝 0266-58-6836
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,025,276 円 (うち支援金 : 1,566,000 円)

事業内容

- ① 環境美化活動として5月～11月にかけて区民84名による協働作業にて林内の間伐材を搬出、重機とダンブにても搬出を行い合計約47トンの間伐材を搬出した。搬出材は再生可能エネルギーの原材料としてとして塩尻のFパワーへ供給した。
- ② 作業開始時には地元住民研修会として、脱炭素バイオマス発電・再生可能エネルギー等の研修会を実施して脱炭素への認識を新たにした。
- ③ 地元小学校6年生54人との森林教育として里山緑化活動の一環である植樹を実施した。



【力を合わせて】

【目標・ねらい】

- ①里山の環境美化
- ②間伐材の住民協働での搬出作業
- ③再生可能エネルギーの供給
- ④2050 ゼロカーボンへの意識高揚

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ある程度の環境美化はできたものの、里山全体として満足のいく景観にはなっておらずさらなる努力が必要。
- ②区民84名による協働での間伐材の搬出作業ができた。
- ③再生可能エネルギーの原材料供給として、間伐材約47トンを供給できた。計画比235%の達成率。
- ④脱炭素社会へ向けた取り組みでの一環であり、作業の事前研修会を通じて意識改革の一助となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後とも里山の環境整備活動は継続して行く中で、遊歩道の延伸・区民登山の実施・次世代を担う小学生との森林教育等の、里山に対する愛着心を育む活動を実施して行きたい。

※自己評価【C】

【理由】

間伐材の協働搬出は計画を大きく達成できたが、里山全体が美しい景観にはなっていない為。又再生可能エネルギー研修会は実施したものの意識の高揚は未完成である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある